

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401010100		事業の種類	5	
年度	26	事務事業名	芸術文化振興補助金事業		予算事業名	文化振興補助金事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角 隆行		担当者名 山本 晃嗣
取組み事項		市民文化活動を振興する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	文化団体					
	誰(何)を対象として	市内を活動の基盤とする芸術文化団体					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の芸術文化活動を支援し、本市の芸術文化活動の一層の活性化を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		芸術文化団体が行う創作発表事業に対して助成を行う。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	補助金	円	264000	264000	724000	264000
	芸術文化活動助成金	円	669000	1090000	996000	1200000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.028	0.028	100	0.028	100	0.028	100	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	523,208	532,566	102	575,477	108	526,338	91	
	事業費	933,000	1,354,000	145	1,680,000	124	1,464,000	87	
	合計	1,456,208	1,886,566	130	2,255,477	120	1,990,338	88	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,456,208	1,886,566	130	2,255,477	120	1,990,338	88	
合計	1,456,208	1,886,566	130	2,255,477	120	1,990,338	88		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化協会会員数							
指標説明(式)		人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	950	1000	105.3	1000	100.0	1000	100.0	
	実績	948	921	97.2	935	101.5			
指標名2		芸術文化活動助成団体							
指標説明(式)		団体数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
数	目標	4	6	150.0	6	100.0	6	100.0	
	実績	4	7	175.0	5	71.4			

【効率性】

指標名1		一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1704	1956	114.8	2473	126.4	1990	80.5	
	実績	1536	2048	133.3	2412	117.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	より一層の成果を求める	4
	期待する目標	多種多様な芸術文化団体を支援することで、本市の芸術文化活動が活性化し、文化振興の目的を達成できる	
効率性	コストの節減	補助金の適正化を検討していく	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通りに進捗している。	4

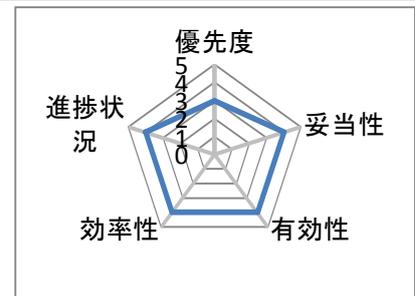
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	高齢化により会員数が減少傾向である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	団体の活動に対する検証を続ける。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401010200		事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	芸術文化活動振興事業		予算事業名	芸術文化活動振興事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	能本 英樹	担当者名	平松 孝夫
取組み事項		市民文化活動を振興する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒					
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の文化活動の振興と向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		書道・音楽活動等文化活動による近畿大会以上に出場した児童・生徒及び団体に対し、補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	補助金	円					

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員		0.024	-	0.024	100	0.024	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	306,936	501,818	163	544,485	109	495,306	91	
	事業費	0	0	-	0	-	60,000	-	
	合計	306,936	501,818	163	544,485	109	555,306	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	306,936	501,818	163	544,485	109	555,306	102	
合計	306,936	501,818	163	544,485	109	555,306	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

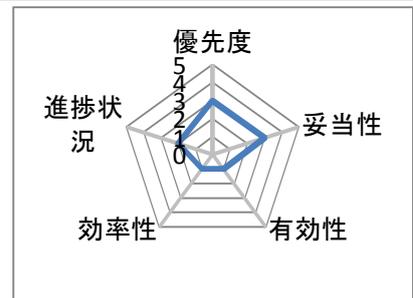
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者の近畿大会以上の出場実績は無い。	1
効率性	執行体制の効率性	適切な体制を整えているが、対象者は無し。	1
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象者の近畿大会以上の出場実績無し。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	児童・生徒の芸術文化活動の促進。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	補助事業の実施内容の見直し

配点	32.5
総合評価	14.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401010300	事業の種類	4
年度	26	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業	予算事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角 隆行
取組み事項		市民文化活動を振興する		担当者名	山本 晃嗣
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定
				無	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(の文化芸術振興)			
	誰(何)を対象として	権威ある大会等において成績が顕著な者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	顕彰を贈呈する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の文化芸術の振興にあたり、権威ある大会等において成績が顕著な者に対し、文化芸術顕彰を贈呈する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	文化芸術顕彰授与	件		4	1	12

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員		0.012	-	0.012	100	0.012	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		409,574	-	451,509	110	402,210	89	
	事業費		14,872	-	3,200	22	60,000	1,875	
	合計		424,446	-	454,709	107	462,210	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		424,446	-	454,709	107	462,210	102	
合計		424,446	-	454,709	107	462,210	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		受賞者数							
指標説明(式)		人数(団体数)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標		12	-	12	100.0	12	100.0	
	実績		4	-	1	25.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

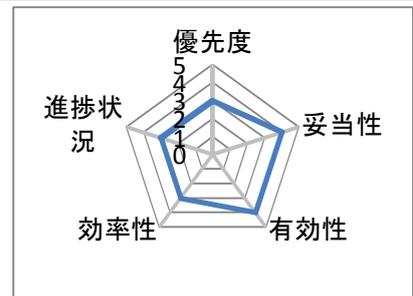
指標名1		一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	40047	-	33517	83.7	
	実績		106112	-	451509	425.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	文化活動レベルの向上が期待される	4
	期待する目標	顕彰制度が周知されることで、文化活動を行う者の一目標となりうる	
効率性	執行体制の効率性	情報把握の効率性、正確性を高めていく	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	情報把握の効率性、正確性を高めていく必要あり



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	各文化団体などとの情報共有に努める

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401020100		事業の種類	5	
年度	26	事務事業名	中学生ペーロン推進事業	予算事業名	中学生ペーロン推進事業	優先度	4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	松本 秀文	担当者名	藤岡 周平
取組み事項		文化事業を実施する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学生					
	誰(何)を対象として	中学生					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生の伝統文化である「ペーロン」を体験し、ふるさとを愛する心をはぐむとともに、ペーロン船をクラス全員が協力して漕ぐことにより、学級の団結力を高める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内3中学校1年生によるペーロン体験乗船及びペーロン競漕					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	中学生参加者数	人	261	219	221	216	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.064	0.068	106	0.092	135	0.104	113	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	801,272	840,046	105	1,071,349	128	1,115,946	104	
	事業費	600,000	600,000	100	600,000	100	550,000	92	
	合計	1,401,272	1,440,046	103	1,671,349	116	1,665,946	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他		600,000	-		0		-	
	一般財源	1,401,272	840,046	60	1,671,349	199	1,665,946	100	
	合計	1,401,272	1,440,046	103	1,671,349	116	1,665,946	100	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		中学生参加者数							
指標説明(式)		中学生参加者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	260	220	84.6	220	100.0	216	98.2	
	実績	261	219	83.9	221	100.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

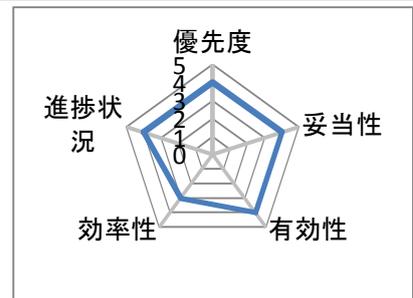
指標名1		参加者(中学生)ひとり当りに係る費用							
指標説明(式)		支出合計(人件費含む)÷参加中学生							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5000	2727	54.5	2727	100.0	2546	93.4	
	実績	2298	2740	119.2	2714	99.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	ペーロンの後継者を作るという点で大変意義がある。	4
効率性	手段の最適性	平日開催であるため、指導員を集めるのに苦勞を要する。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	予定通り達成できた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	中学生ペーロンも6年目を迎えたが、初年度より事業内容が向上していない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	ペーロン競漕は、ターンを行うことで、そのレースが形成されているため、600メートルでの、レースの実現を行う必要がある。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401020200		事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	芸術文化振興事業		予算事業名	文化振興事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課			
施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角 隆行		担当者名	山本 晃嗣
取組み事項	文化事業を実施する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	芸術文化活動					
	意図(どのような状態にしたいのか)	美術展など芸術文化にふれる機会を提供し、市民の自発的芸術文化活動が盛んに行われることにより、こころ豊かな生活が送れる					

2 事業の概要 Do

実施の概要		文化祭・美術展を実施する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	文化祭	事業	15	16	16	15	
	美術展	回数	1	1	1	1	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.748	0.748	100	0.728	97	0.728	100	
	臨時職員	0.012	0.060	500	0.112	187	0.112	100	
支出内訳	人件費	6,113,324	6,213,666	102	6,271,237	101	6,249,818	100	
	事業費	2,738,770	2,727,715	100	2,729,356	100	2,740,000	100	
	合計	8,852,094	8,941,381	101	9,000,593	101	8,989,818	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,852,094	8,941,381	101	9,000,593	101	8,989,818	100	
合計	8,852,094	8,941,381	101	9,000,593	101	8,989,818	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化祭参加者数							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
実績	目標	3000	3300	110.0	4000	121.2	4000	100.0	
	実績	2933	4181	142.6	3635	86.9			
指標名2		美術展出品数							
指標説明(式)		出品点数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
点数	目標	230	250	108.7	250	100.0	250	100.0	
	実績	262	278	106.1	277	99.6			

【効率性】

指標名1		一人あたりコスト							
指標説明(式)		事業費÷参加者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	913	830	90.9	685	82.5	685	100.0	
	実績	933	652	69.9	750	115.0			

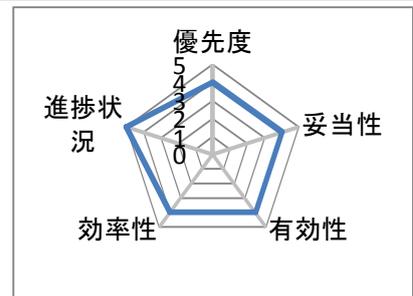
指標名2		出品一点あたりコスト							
指標説明(式)		事業費÷出品数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	11913	10960	92.0	10960	100.0	10960	100.0	
	実績	10453	9811	93.9	9853	100.4			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	より多くの市民に優れた芸術文化の鑑賞、創作発表の機会を与える。	4
効率性	手段の最適性	委託事業という効率的手法	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画どおりに進んでいる	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	事業内容を精査し、委託料の削減を図る



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	市民の文化活動を支援する必要があると継続するが、新しい文化会館の開館に向けて、各種団体の部門のあり方など事業内容の見直しを検討する。

配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		010401030100		事業の種類		2	
年度	26	事務事業名	市民会館管理運営事業	予算事業名	市民会館管理運営事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	財務部財政課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	山本大介	担当者名	片山誠之
取組み事項		文化施設の充実を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		相生市民会館改修工事		相生市民会館維持修繕事業			
根拠法規及び関連法規		相生市民会館条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、団体等					
	誰(何)を対象として	文化的活動の場の提供					
	意図(どのような状態にしたいのか)	文化活動の促進					

2 事業の概要 Do

実施の概要		利用者に活動の場を提供するとともに、適切な施設の維持管理を行う。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	利用者数	人	90174	74248	74283	75000	
	利用件数	件	3126	2649	2717	2800	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.271	0.542	200	0.140	26	0.140	100	
	臨時職員	0.300	0.600	200	0.040	7	0.040	100	
支出内訳	人件費	3,121,040	5,948,284	191	1,540,453	26	1,499,834	97	
	事業費	20,888,328	25,133,704	120	23,157,941	92	25,055,000	108	
	合計	24,009,368	31,081,988	129	24,698,394	79	26,554,834	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	6,455,892	6,012,941	93	5,730,465	95	6,338,000	111	
	一般財源	17,553,476	25,069,047	143	18,967,929	76	20,216,834	107	
合計	24,009,368	31,081,988	129	24,698,394	79	26,554,834	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民会館利用件数							
指標説明(式)		利用件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2994	3200	106.9	3000	93.8	3000	100.0	
	実績	3126	2649	84.7	2717	102.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		利用者1名にかかるコスト							
指標説明(式)		事業費/利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	311	272	87.5	362	133.1	334	92.3	
	実績	231	338	146.3	311	92.0			

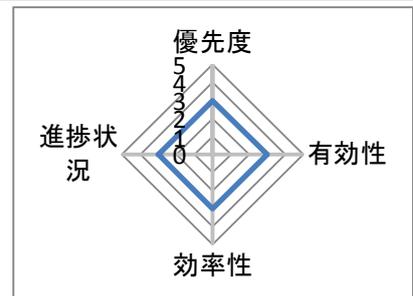
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	大ホールが使用停止となっているが、利用人数及び利用件数が前年度と比較し増加した。	3
	組織運営・適正管理	利用団体との協働により、良好な施設活用が図れた。	
効率性	コストの節減	利用者1名にかかるコストは概ね横ばい状態となっている。	3
	執行体制の効率性	市民会館受付業務をシルバー人材センターに委託を行い、執行体制は効果的である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	使用実態に即した施設管理を行い、事業費節減に努める必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	市民会館としての維持修繕については、現状維持を継続しつつ、修繕は最小の経費で最大の効果が得られるよう維持管理に努め。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401030200		事業の種類	6		
年度	26	事務事業名	仮称・市民文化会館建設事業		予算事業名	仮称・相生市文化会館建設事業	優先度	—
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課			
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角 隆行	担当者名	平野 慎司	
取組み事項		文化施設の充実を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有	
実施計画事業名		仮称・市民文化ホール建設事業 ホール周辺整備事業		仮称・市民文化ホール建設事業(周辺)				
根拠法規及び関連法規		文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	全市民						
	誰(何)を対象として	全市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が身近に文化芸術に関わることにより、精神的な豊かさや感動を共有し、文化芸術を媒介としたコミュニケーションや地域活動の活発化を促す。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		市民会館大ホールは、耐震化を前提としていたが、極度に低い耐震性能のため、耐震化工事が不可能であり、新たな大ホール建設の検討を行った。基本計画検討過程で、市民会館本館機能と一体整備することとなった。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	庁内検討委員会開催	回	4	2	0	0
	市民会議開催	回	5	2	0	0
	基本構想・計画策定	件	1	-	-	-
	基本・実施設計策定	件		2	-	-

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	1.320	1.280	97	0.880	69	1.140	130	
	臨時職員	0.480	0.480	100	0.080	17	0.360	450	
支出内訳	人件費	11,656,056	11,328,370	97	7,371,173	65	10,094,634	137	
	事業費	12,947,556	119,083,551	920	407,286,279	342	2,147,483,647	527	
	合計	11,797,456	130,411,921	1,105	414,657,452	318	2,157,578,281	520	
財源内訳	国庫支出金		30,300,000	-	145,259,000	479	506,032,000	348	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-	225,200,000	-	1,434,700,000	637	
	その他			-		-	35,000,000	-	
	一般財源	11,797,456	100,111,921	849	44,198,452	44	181,846,281	411	
合計	11,797,456	130,411,921	1,105	414,657,452	318	2,157,578,281	520		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		会議開催数							
指標説明(式)		市民会議開催件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回	目標	10	3	30.0	0	0.0	0	-	
	実績	5	2	40.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

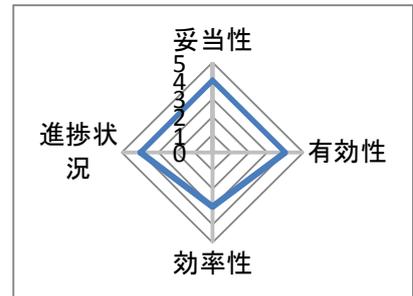
指標名1		基本計画作成コンサル活用							
指標説明(式)		委託料1,292千円×2/5÷コンサルタント協議回数(10回) ※契約期間:平成24年3月5日～7月31日							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	50,000		0.0		-		-	
	実績	162,000		0.0		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	市民を中心に繰り広げられるさまざまな自己表現や優れた文化芸術の公演とその観賞、そして講演・講座とその聴講の機会の提供などの諸活動による、世代を超えた感動・喜び・共感・生きがいが発見できる。	4
	期待する目標	市民主体の多彩な事業展開と、地域の絆づくり、まちづくりへの進展。	
効率性	コストの節減	市民会館本館機能との一体的整備によるコストの削減が見込まれる。	3
	手段の最適性	基本計画策定にあたり、策定業務自体は市の作業とし、コンサルタント業務のみ委託とした。プロポーザルにより、適切に設計業者の選定を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	庁内検討委員会・市民会議による基本構想策定を経て、基本計画を策定、更に基本設計に着手した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	目標を達成するには、運営面で市民参加を活発にしていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401030300		事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	仮称・市民文化会館管理運営事業	予算事業名	仮称・相生市文化会館管理運営事業	優先度	5
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角 隆行	担当者名	平野 慎司
取組み事項		文化施設の充実を図る		実施計画への記載	主要事業の指定		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市文化会館の設置及び管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	全市民					
	誰(何)を対象として	全市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民自らの文化活動を促し、市民の交流と文化の向上を図れる施設として運営する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		平成28年度オープンを迎え、市民参加による管理運営を行っていくこととなる。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	企画委員会開催	回	-	-	11	26
	運営審議会開催	回	-	-	-	2

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.027	-	0.026	96	
	参事以下職員			-	0.700	-	0.700	100	
	臨時職員			-	0.060	-	0.360	600	
支出内訳	人件費			-	5,927,933	-	6,681,114	113	
	事業費			-	1,195,560	-	12,092,000	1,011	
	合計			-	7,123,493	-	18,773,114	264	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-		-		-	
合計			-	7,123,493	-	18,773,114	264		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		会議開催数							
指標説明(式)		企画委員会の開催件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	10	-	26	260.0	
	実績	-	-	-	11	-			
指標名2		ボランティアスタッフの登録数							
指標説明(式)		ボランティアスタッフの確保							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	-	-	20	-	
	実績	-	-	-	-	-			

【効率性】

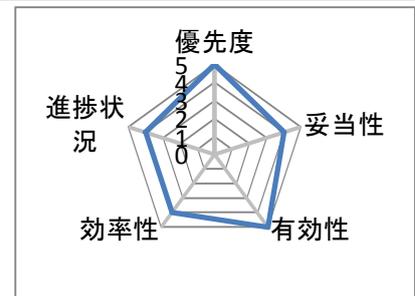
指標名1		ボランティアスタッフの参加数							
指標説明(式)		ボランティアスタッフの延べ参加数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	-	-	40	-	
	実績	-	-	-	-	-			
指標名2		会議開催数							
指標説明(式)		運営審議会の開催件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	-	-	2	-	
	実績	-	-	-	-	-			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	受益者負担・市民参加の考え方の下、使用料以上の満足を得られる施設にし、できるだけ多くの自主事業を開催し、にぎわいを作っていく。	5
	期待する目標	文化芸術団体の育成、鑑賞する機会の提供、地域の絆づくり、まちづくりへの進展。	
効率性	コストの節減	早期にランニングコストの実情を把握し、節減に向けた見直しに努めていく。	4
	手段の最適性	公募を含む有識者からなる企画委員会の参加により、使用者、来館者の視点から有効な管理運営の方法を選択している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	企画委員会の意見を尊重しながら、館の運営全般について方向を決めている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	館として今後、効率的な運営を図るために細かく現状を把握していく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	建物引渡し時点から設備の効率的利用方法を考える。

配点	32.5
総合評価	29

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401040100		事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	文化財運営事業	予算事業名	文化財事業	優先度	5
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角 隆行	担当者名	桑本 健一
取組み事項		文化財の保存と活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		感状山城跡保存整備事業					
根拠法規及び関連法規		文化財保護法、相生市文化財保護条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	文化財					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内文化財の保護と活用を図ることが郷土愛につながる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		文化財を適正に管理し、市民の関心と理解を深める。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	文化財保護事業(清掃作業等)	件	9	9	9	10	
	歴史講座の実施				21	34	
	史跡めぐりの実施				11	12	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.120	0.240	200	0.340	142	0.320	94	
	臨時職員	0.072	0.216	300	0.224	104	0.208	93	
支出内訳	人件費	1,406,832	2,689,466	191	3,537,173	132	3,335,594	94	
	事業費	1,510,700	1,372,768	91	2,917,776	213	2,032,000	70	
	合計	2,917,532	4,062,234	139	6,454,949	159	5,367,594	83	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,917,532	4,062,234	139	6,454,949	159	5,367,594	83	
	合計	2,917,532	4,062,234	139	6,454,949	159	5,367,594	83	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		感状山城跡入山者数(個人情報の高まりにより、登山名簿に記帳しない者の増加が見られる)							
指標説明(式)		35人(1ヶ月平均)×12ヶ月=420名							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人数	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2		歴史講座及び史跡めぐりの開催回数							
指標説明(式)		年間開催回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	33	-	46	139.4	
	実績			-	33	-			

【効率性】

指標名1		人口1人当たりの文化財関連経費							
指標説明(式)		文化財関連事業費÷相生市の人口							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	41	64	156.1	120	187.5	50	41.7	
	実績	49	44	89.8	96	218.2			

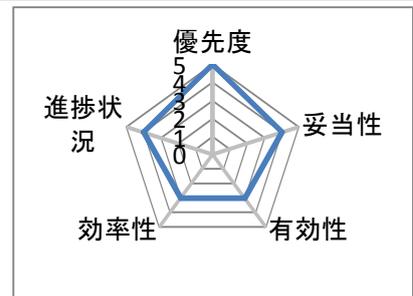
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	コスト面からみて、これ以上の減額は難しく、成果の維持を保っている	3
	市民サービス	文化財を市民共通の財産として後世へ引継ぐことは市民サービスに不可欠である。	
効率性	コストの節減	事業費削減の中、文化財の維持管理上、必要最低限のところまで切り詰めていることから、これ以上のコスト削減の余地はないと思われる。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	市内に残る文化財の維持管理をどのように行っていか。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	史跡パンフレットの作成などにより、市民に市内に残る文化財のPRを行っていきたい。また、市民参加型の行事を引き続き実施する。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401040300		事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	資料館管理事業	予算事業名	資料館管理事業	優先度	5
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角 隆行	担当者名	桑本 健一
取組み事項		文化財の保存と活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		資料館活性化サポート事業					
根拠法規及び関連法規		相生市立歴史民俗資料館条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	歴史民俗資料館					
	意図(どのような状態にしたいのか)	郷土資料の収集、保存、活用を図ることが郷土愛につながる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		郷土資料を適正に管理し、市民の関心と理解を深める。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	資料館管理事業(特別展の開催)	回	2	2	2	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.066	0.330	500	0.270	82	0.330	122	
	臨時職員	0.035	0.514	1,469	0.511	99	0.521	102	
支出内訳	人件費	900,825	4,108,714	456	3,692,223	90	4,231,669	115	
	事業費	480,989	966,961	201	2,807,837	290	2,911,000	104	
	合計	1,381,814	5,075,675	367	6,500,060	128	7,142,669	110	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,381,814	5,075,675	367	6,500,060	128	7,142,669	110	
合計	1,381,814	5,075,675	367	6,500,060	128	7,142,669	110		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		資料収集状況							
指標説明(式)		年度内に受け入れた資料数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
点	目標	120	120	100.0	120	100.0	120	100.0	
	実績	92	166	180.4	150	90.4			
指標名2		1ヶ月当たりの入館者数							
指標説明(式)		入館者数÷12ヶ月							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	80	80	100.0	100	125.0	100	100.0	
	実績	40	102	255.0	107	104.9			

【効率性】

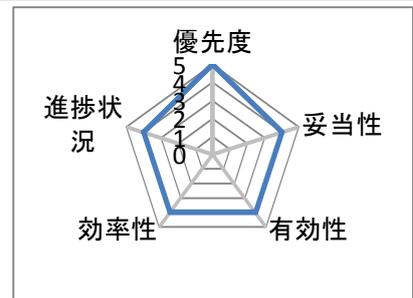
指標名1		資料館入館者1人当たりにかかった経費							
指標説明(式)		資料館事業費÷入館者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1000	1300	130.0	2000	153.8	2300	115.0	
	実績	998	794	79.6	2257	284.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	郷土資料を市民共通の財産として、後世に引き継ぐことは不可欠である。	4
効率性	手段の最適性	資料館活性化サポート事業により、展示物の入替や特別展、資料館資料の収集・展示を行い、資料館の入館者数増に努める。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	寄贈を受けた貴重な資料や資料館活性化サポート事業で収集を行った資料を展示することで資料の有効活用を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	引き続き資料館の展示物の入替や特別展を実施する。

配点	32.5
総合評価	28

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401050100	事業の種類	4
年度	26	事務事業名	国際交流事業	予算事業名	国際交流事業
優先度					4
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課	
施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	松尾 次郎	担当者名 北條 麻梨香
取組み事項	多文化共生を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	外国籍市民を含めたすべての市民			
	誰(何)を対象として	外国籍市民を含めたすべての市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が国際化の意識を高めるとともに、外国人が安心して暮らせるようにする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	相生市国際交流協会による委託事業 (食を通じた国際交流事業、市内在住外国人との交流・支援事業)					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	スピーチ大会	人	-	-	20	20
	食文化交流会	人	28	33	22	25
	市民交流会	人	42	25	26	30
	日本語教室(養成講座)	人	32	122	372	400

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.144	0.240	167	0.244	102	0.128	52	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.020	50	0.008	40	
支出内訳	人件費	1,515,312	2,259,850	149	2,297,645	102	1,323,058	58	
	事業費	180,000	180,000	100	300,000	167	300,000	100	
	合計	1,695,312	2,439,850	144	2,597,645	106	1,623,058	62	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	180,000	180,000	100	300,000	167	300,000	100	
	一般財源	1,515,312	2,259,850	149	2,297,645	102	1,323,058	58	
合計	1,695,312	2,439,850	144	2,597,645	106	1,623,058	62		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		国際交流協会事業							
指標説明(式)		事業数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	3	3	100.0	5	166.7	5	100.0	
	実績	3	4	133.3	4	100.0			
指標名2		国際交流事業参加者数							
指標説明(式)		国際交流協会主催による事業への参加者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	150	222	148.0	270	121.6	475	175.9	
	実績	158	288	182.3	440	152.8			

【効率性】

指標名1		事業参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		総事業費÷事業参加者							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	9,400	-	3,417	36.4	
	実績	10,730	8,472	79.0	5,904	69.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	イベントを通じて市民と市内在住の外国人との交流を促進することができた。また、支援の必要な外国人に対しては日本語教室を行うことで生活環境の向上が図れた。	4
	市民サービス	交流事業を行うことで異国の文化に触れ、市民にとって国際理解を深める機会となっている。また市内在住の外国人に対して日本語学習の場を提供することで、サービスの向上につながっている。	
効率性	コストの節減	事業の増加に伴い人件費が増加しているものの、参加者一人あたりのコストとしては減少している。	4
	手段の最適性	国際交流協会及びボランティアスタッフと協力し、事業を進めることが現状では最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	多文化共生に向けて概ね計画通りに進捗している。	4

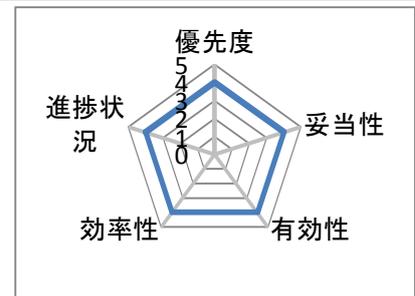
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	日本語教室以外の事業への参加者数が減少傾向にある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	現在の日本語教室や各種事業を見直し、より市民のニーズに合った事業内容とする。



配点	32.5
総合評価	26